



“つくれる文具屋さん”の木阪賞文堂がお届けする
輝くステキな女性にささげる、ミニ情報誌です。

第280号

2026年
10～11月号
発行

いどばた辞典



10月14日「鉄道の日」

この二つの理由から、
1922（大正11）年
に10月14日が「鉄道
記念日」に制定されたの

です。これは、1922（大正
11）年にこの日が「鉄道記念
日」として制定されたことに始
まります。それには、次の二つ
の理由がありました。

一つは、日本最初の鉄道が1
872（明治5）年の9月12
日に開業したことになります。
初の鉄道が走ったのは、後に汐
留貨物駅になる「新橋駅」と、
現在の根岸線桜木町駅である
「横浜駅」の間です。1872
年当時は旧暦が用いられていま
したが、この日を新暦に
すると10月14日にな
るのです。もう一つの理
由は、1921（大正1
0）年の10月14日に
鉄道開業50周年を記念
して、東京駅の丸の内北
口に「鉄道博物館」が開
館したことです。

毎年「鉄道の日」の前後は、
多くの人が楽しめる企画や催し
が目白押しです。全国の鉄道会
社で車庫の見学会やレアな部品
の販売会など、いろいろなイベ
ントが行われます。マナーを守
りながら楽しみましょう。

「鉄道の日」と
いう名称にな
ったのは、19
94（平成6）
年です。運輸省
（現在の国土交
通省）によるも
のでした。

ちなみに、初代の「鉄道博物
館」は大正時代に起こった関東
大震災によって資料を焼失した
ために閉館されましたが、その
後は全国各地に鉄道の博物館や
展示施設が作られるようになり
ました。現在は、JR系の3大
博物館をはじめ、主要なものだ
けでも（各地の私鉄・自治体運
営の施設を含めて）全国に20
～30カ所あります。

10月14日は「鉄道の日」
です。これは、1922（大正
11）年にこの日が「鉄道記念
日」として制定されたことに始
まります。それには、次の二つ
の理由がありました。

「鉄道の日」と
いう名称にな
ったのは、19
94（平成6）
年です。運輸省
（現在の国土交
通省）によるも
のでした。



いきいき
悠々
生活

暮らしの「？」を解決します！



～ 防災グッズはどこで購入する？ ～

防災グッズの購入は、ネット
通販と実店舗を使い分けるのが
効率的です。Amazonや楽天市場、メーカー公
式通販サイトでは、膨大な種類の防災グッズを
自宅にしながら購入できます。特に重い水や非
常食、プロ監修の防災リュックセットなどは配
送してもらえるという点が便利です。口コミや
レビューを参考に選べるほか、送料無料やポイ
ント還元を活用すればコストを抑えられます。

実店舗では、まずホームセンターは、防災
リュック・保存水・簡易トイレ・家具転倒防止
グッズなど幅広く揃います。専用コーナーが

ある店舗も多く、価格も
比較的リーズナブルです。

家電量販店は、ラジオ
や懐中電灯、ポータブル
電源などの電化製品系防
災グッズが充実していま
す。ドラッグストアやス
ーパーは日用品や医薬品
と一緒に簡易トイレや非
常食などの購入が可能で

す。買い物ついでに揃えられるのが利点です。

文具・事務機器店の中には防災商品の取り扱い
に注力している会社もあります。ヒアリングから
転倒防止工事にも対応しています。



いどばた調査隊



5歳若返るヒケツ

～白湯(さゆ)を飲もう～

白湯(さゆ)は美容や健康にうれしい効果がたくさんあると言われています。冷たい飲み物を飲むと内臓が一時的に冷え、消化や代謝が落ちることがわかっています。しかし白湯は、体への負担が少なく、じわりと内側から温めてくれるため、血流や内臓の動きが整いやすくなります。冷え性や肩こり、腰痛に悩んでいるという人には、白湯を飲むだけという健康法を実践する人も多いようです。

その他にも、血行が良くなることでむくみにくくなる・消化が整い胃腸の負担が減る・肌のターンオーバーが促される・自律神経が整いやすくなる

……といった効果も期待されます。

おススメは、朝起きてすぐの一杯。寝ている間に下がった体温をやさしく上げ、胃腸を動かし始めるスイッチになります。また、食事前・冷えた時・寝る前なども、白湯の効果を感じやすいタイミングです。

但し、熱すぎるのはNGで、50～60℃くらいがおススメです。一度に大量に摂るのではなく、ゆっくり少しずつ飲むことが推奨されています。



今月の処方箋

自分を許せない時期は辛いが、その果てにしか素敵な笑顔はないのだ。

村上 龍(小説家・映画監督・脚本家)



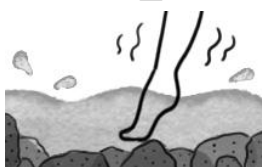
先人の言い伝え

ことわざ百選

浅い川も深く渡れ

見た目には簡単そうなことや些細なことでも、予期せぬ危険やトラブルが潜んでいる可能性があるため、深い川を渡るときのように慎重に行動すべきという戒めを示す言葉です。小さな作業や簡単に見えることも油断せず、手順を確認しながら進めることの大切さを伝えていきます。

江戸時代初期の俳諧集『世話尽』が由来です。当時は橋が少なく、川を渡ること自体が危険を伴う日常行為でした。浅く見える川でも、足を滑らせたり急に深くなったたりする場所があるためです。その他にも、油断すれば命に関わることも多々あったので「慎重に行動すること」の大切さが広まったとされています。



暮らしのリフォームQ&A

【Q】浴室と洗面所のリフォームは、まとめて工事したほうがコストダウンできると聞きました。

リフォーム工事の費用で大きな割合を占めるのが手間代です。つまり、リフォームに関わる業種が多くなるほど工事費も高くなり、手間代もかさみます。とくに水回りのリフォームは、たとえ工事面積が狭くても複数の業種が必要になるので、何回にも分けて工事すると結局割高になってしまうことがあります。

浴室と洗面所には多くの場合同種の業者が必要になるので、なるべく一緒にリフォームしたほうがコストダウンにつながる可能性は高いです。将来的にほかの箇所のリフォームもお考えなら、まずは信頼できる業者に相談してみましょう。プロと話し合いプランを練るのがおすすめです。





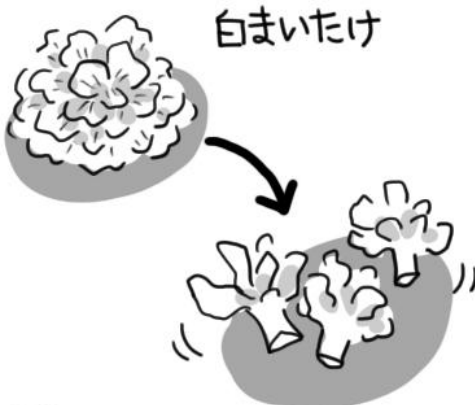
美味食材を味わう

とっておき★旬レシピ

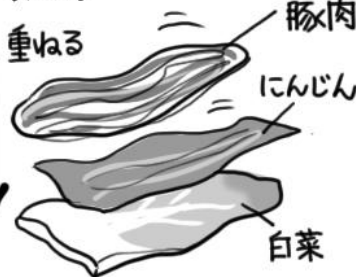
10月のとっておき★白まいたけのすき焼きミルフィーユ鍋

- ① 白まいたけは食べやすい大きさにさく。

白まいたけ



- ② にんじんはピーラーでリボン状の薄切りにする。白菜は芯を切り落として1枚ずつはがす。白菜、にんじん、豚肉の順に重ね、5cm幅に切る。

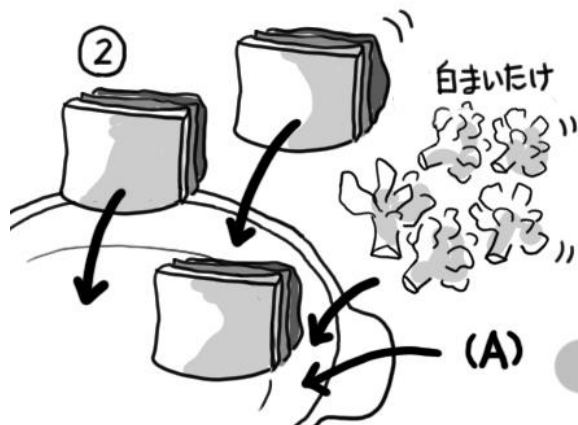


材料(3人分)

白まいたけ: 2パック(140g)
豚バラ肉(薄切り): 300g
にんじん: 1/2本
白菜: 1/4個
卵: 適宜

(A) しょうゆ: 1/2カップ
みりん: 1/2カップ
砂糖: 大さじ4
水: 1/2カップ

- ③ 鍋に②を立て並べ入れて、おきまに白まいたけを差し込み、(A)を加えて火にかける。



- ④ 具材に火が通ったら好みで溶き卵をつけて食べる。



【参考】キッコーマンホームクッキング <https://www.kikkoman.co.jp/homecook/>

ご存じですか？

白まいたけ（白舞茸）は、一般的な茶褐色のまいたけとは異なり、全体が白く、ひらひらとした美しいカサを持つ品種です。料理の際は加熱しても煮汁が黒くならず、そのメニューの彩りを損ないません。

食物繊維やビタミン類などの栄養素は、通常の

茶色いまいたけとほぼ同じですが、茶色いものと比べてきのこ特有のクセが少なく、柔らかい食感が特徴です。お吸い物をはじめ、洋風のマリネやパスタなどにもよく合います。水洗いは不要で、手で簡単に裂くことができるため、調理がしやすいという点でもおすすめです。



人気のグラノーラ（シリアル）を食べて
オリジナルマカロンと詰め合わせセットを当てよう！

ごろグラ meets DALLOYAU ときめきづくしキャンペーン

日清シスコ（株）の「ごろグラ」シリーズは、2014年の発売以来、バリエーションの豊富さやこだわりの具材で人気です。ピスタチオを使った新商品「ごろグラ 薫るピスタチオ」の発売を記念し、マカロンをはじめとするかわいらしいスイーツで人気の洋菓子ブランド「ダロワイヨ」とコラボした「ごろグラ meets DALLOYAU ときめきづくしキャンペーン」を実施しています。

対象商品を購入した方の中から抽選で、A賞、B賞それぞれ294（つくし）名、合計588名に「ダロワイヨ」のスイーツと「ごろグラ」の詰め合わせセットにした賞品が当たります。A賞は「ごろグラ」

のロゴ入りマカロンが入った「オリジナルマカロン」、B賞は「ダロワイヨ」のオリジナルキャラクター「ジョセフィーニャ」のフィギュアが付いた、いちごゼリー入りのキャニスターです。

スイーツ好きにはたまらないキャンペーンとなっています。奮ってご応募ください



ごろグラ meets DALLOYAU ときめきづくしキャンペーン

【賞品】

- A賞 オリジナルマカロン&ごろグラ詰め合わせセット…294名
B賞 ゼリー入りキャニスター&ごろグラ詰め合わせセット…294名

【応募方法】

キャンペーン特設ページにアクセスし、必要事項を入力の上、対象商品を1個以上お買い上げいただいたレシートまたは領収書の写真をアップロードしてください。

【応募最終締切】

2026年11月30日(月) 23:59
※レシートの対象期間
2026年7月13日(月) ~ 11月30日(月)

【キャンペーン特設ページ】

https://www.gorogura.jp/gorogura_meets_dalloyau/

【問い合わせ先】

「ごろグラ meets DALLOYAU ときめきづくしキャンペーン」事務局
TEL 0120-133-307





文具女子博2026 in広島

～入社2年目の二人が初めて文具女子博に行ってみた～

2026年10月2日にSOGO広島にて開催された「文具女子博2026」へ参加してきました。私たちは文具博系のイベントへは初参加で、どのような人たちが購入に来られているのか、どんな商品が展示されているのかなど全く想像も出来ませんでした。私は年に数回、大阪の見本市に出席していた為、それに近い雰囲気とっておりましたが行ってまず来場者の多さに圧倒されました。



開館後、早めに入場したのですが文具女子博が開催されているフロアには既に沢山の来場者の方がいらっしゃいました。展示ブースを回っていると「紙、スタンプ、マスキングテープ」が商品数としては圧倒的に多いことに気づきました。「文具女子博」という名前から筆記具関係が多いと思っていましたがむしろ筆記具関係の商品はほぼありませんでした。その中でもやはり来場されている方が手に取っているのは先に述べた紙(ノート系、レター系など)、スタンプ、マスキングテープでした。デジタル全盛の時代・・・にです。



また、その中でも特に人が多かったのは「**限定商品**」です。私もそうですが「限定」や「特価」、「セール」などの言葉には人の購買意

欲を掻き立てる何かがあるのではないかと思います。実際に、購入後に「得した」「ラッキーだった」など思います。そういった文言を使用しつつ、いかに商品に興味を持っていたか・買ってよかった、と思ってもらえるような商品や広告をした方が良く感じました。展示ブースの中でデルフォニックスのブースでは一番の人だかりで行列ができていました。実際こちらでも限定商品等展示しておりましたが、「ブランド力」に引き寄せられたお客様も中にはいた筈です。賞文堂でもデルフォニックス社の商品を陳列していますが

もしかしたら見つけられていないのでは？とも感じました。その時、二人の中で「〇〇コーナー」のような場所をつくれれば来店されたお客様の目に留まるのではないかと話になりました。

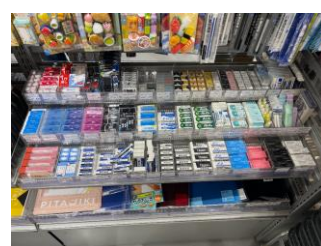
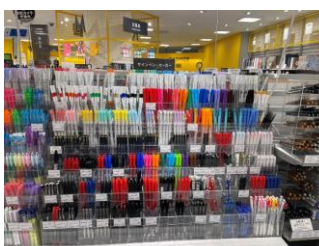
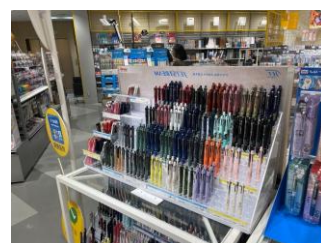


これは余談になりますが、文具女子博終了後、別フロアにあるLOFTに立ち寄りました。当日は「文具女子博」に合わせて「LOFT 文具フェス」と称してイベントをしていたからです。

何をしているのか見に行ったのですが、やはり陳列がきれいで見やすいと思いました。

正直、フェスと言って普通に文具が陳列されていただけでしたが「**魅せ方**」がきれいだなと思いました。これを言う「それは強者の戦略であって弱者の戦略ではない」と言われそうですが私は少なからず強者から吸収することもあると思うのであの「魅せ方」を今の店舗で実践したいと思いました。

まとめとして、文具女子博では限定品などを駆使しつつ、文具女子にはマスキングテープや紙系等がウケるんだということを認識、そういった商品をここにあるよ！と来客者へ伝える「**魅せ方**」の重要性を感じたのであります。(記:木阪敏之、木阪まどか)





「柳井駅ピンバッジ・・・

実は柳井が一番の「秘境」かも!??

10月1日から始まった山口デスティネーションキャンペーン。その関連企画として、ちょっと面白い「山口周遊鉄道旅 御乗印」がスタートしています。

山口県内10か所の「御乗印」を集めながら県内を巡るというもの。しかも、**特牛駅・宇部新川駅・柳井駅**の3か所には「**現地訪問賞**」があり、御乗印を購入し実際に現地まで足を運ぶと、何と!! **先着400名様に非売品の「駅名標ピンバッジ」**がもらえます。

そして何を隠そう、**柳井駅の現地訪問賞の引換場所が、木阪賞文堂 白壁店**なのです。大変ありがたいお役目なのですが、よく考えてみると、この3か所の中で木阪賞文堂が一番の「**秘境**」ではないか?と思い始めました。柳井駅から歩いて行けます。山奥でもありません。道なき道を進む必要もありません。しかし問題は営業時間。

白壁店は11時から17時まで。しかも月曜・水曜はお休みです。

つまり、せっかく柳井まで来ていただいても、「今日は休みじゃった!」ということがあり得ます。コンプリートを目指す皆様にとっては、鉄道の時刻表だけでなく、木阪賞文堂の営業日時まで確認しなければならない。

もはや**柳井駅ピンバッジは、難易度高めの超レアアイテム**です。

実際、スタート早々、県外からわざわざ柳井まで来られる方がおられます。「このあと宇

部へ行きます」「次は日本海側へ向かいます」というお話も何度か伺いました。

一枚の御乗印、一個のピンバッジをきっかけに、山口県を東へ西へ、そして日本海側へ。こうして人が動く姿を目の前で見ると、今回の山口DCで、本当にたくさんの方が県内を旅されるのだろうと実感します。

そして思うのです。

県外から来られた方が、これほど山口県を楽しんでくださるのなら、山口県に住む私たちも負けてはいられません。

「いつでも行ける」は、案外「なかなか行かない」もの。

コンプリートまではしなくても、この機会に御乗印を一つ二つ集めながら、地元・山口県を旅してみるのも面白そうです。

何より「**現地まで行った人しかもらえない「非売品」「先着限定」**。

この三つが揃うと、なぜでしょう。急に欲しくなります。

柳井市民の皆様も、まずは地元のレアアイテム「柳井駅ピンバッジ」をGETされてはいかがでしょうか。

ただし——
木阪賞文堂白壁店という“秘境”(?)の営業日時の確認を、どうぞお忘れなく。
(記：木阪泰)





国森家住宅、再び時を刻む!

国指定重要文化財「国森家住宅」が柳井市へ寄贈され、10月3日から再び一般公開されることになりました。コロナ禍以降、公開が休止されていただけに、白壁の町並みに再びこの扉が開くことを、心からうれしく思います。国森家の前身は守田家「室屋」。手船商や布木綿などの反物商を営み、明和5年（1768）に現在の古市へ移り、その後、ともし油やびんつけ油の製造販売も手掛けました。柳井が瀬戸内の商都として栄えた時代を今に伝える、まさに「生きた歴史」です。

そして私たちにとって国森家住宅は、単に一軒の重要文化財というだけではありません。昭和49年の国重要文化財指定を一つの契機として、昭和54年に「柳井市白壁の町並みを守る会」が発足。そして昭和59年、古市・金屋地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。言ってみれば、**今日の白壁の町並みの原点の一つが国森家住宅なのです。**

私自身にも忘れられないご縁があります。2019年、守る会設立40周年記念事業を考える中で、以前から自身の中で温めていた“弘前との交流”を提案させていただきました。当時としては少々唐突で、どうなることやらという提案だったかもしれませんが。それでも国森重彦さんには好意的に受け止め、道を開けて通していただきました。あの一步がなければ、その後の交流、そして今年実現した弘前ねぷたと柳井金魚ちょうちんの共演も、違ったものになっていたかもしれません。改めて感謝しています。

国森家は、おひな様巡り、七夕、八朔の船流し、観月祭など、長年にわたり町並みの活動を支える大切な舞台でもありました。建物を守るだけではなく、そこで人を迎え、町の営みを守ってこられた。その積み重ねに深い敬意を表したいと思います。



※9月26日(土)国森さんへの感謝状贈呈式にて。雨音がとっても心に染みた一日でした。

そして今回、その大切なバトンを受け取り、保存と公開へつないでくださった柳井市にも心より感謝申し上げます。

一軒の家を守ることが、町を守ることになり、やがて新しいご縁まで生んでいく。

国森家住宅の再公開は、歴史を振り返るだけの日ではありません。ここからまた、白壁の町並みの新しい物語が始まります。

(記：木阪泰)



好奇心というのは
道草でもあるわけです。
確かに時間の無駄ですが、
必ず自分の糧になる。

— 手塚 治虫 —

(漫画家)

元氣の出る
ことだま
言葉



「そうだ！ 賞文堂！ 行こう！」



※素材調整の為、マウスにプリント
してみました。きれいに仕上がります。

(有) 木阪賞文堂

- スタッフ人数 10名
(中央店9名、白壁店1名)
- モットー「当社の商品・サービスを通じてお客様を幸せにすること！」
- 住所 〒742-0035 山口県柳井市中央
3-278-2(柳井グリーンマンション前)
- 連絡先 Tel0820-22-0150
E-mail:info@sirakabe.com

半年遅れで、ようやくやってきたUVプリンター。只今、とにかく場数をこなしております。導入当初は色調整を間違えて「ありゃりゃ、とほほ…」な仕上がりもありましたが、失敗も大事な授業料。素材が変われば色の出方も変わり、思っていた以上に奥が深い。それでも最近は、かなり「いい感じ」になってきました。せっかく導入した機器ですから、特定の人しか使えないのではもったいない。スタッフ誰もが使えるよう、あれこれ試しながらみんなで勉強中です。秋祭りや文化祭の記念品、行楽のお土産、そしてこれからはクリスマスやお正月のちょっとした贈り物にも出番がありそうです。狭い範囲とはいえ、立体物にも1点から印刷できるのは大きな強み。「これに印刷できる？」「一個だけ作れん？」、そんなご相談こそ大歓迎です。新しい機器が増えても、やることは昔から同じ。地域の皆様の「ちょっと困った」を、文具とそれに付随するサービス、そして少々の知恵と工夫で解決する。そんな文具屋さんであり続けたいと思っています。

(記：賞文堂スタッフ)